

令和元年度

自己評価・学校評価 報告

趣旨

これは、年度初めに設定した目標や具体的な教育活動等がどの程度達成できたか、達成に向けた取り組みが適切であったか等について、評価(Check)と改善(Act)、実践(Do)を繰り返しながら、生徒が充実した高校生活を送ることを目標に行うものです。

9月に中間評価を実施し、年度末評価は3年生は1月に、1・2年生は2月に行いました。その2回の評価結果から、中間評価における課題が年度末評価までにどのように改善されたかや今後も本校が取り組まなければならない課題などについて、本校教員による【分析】の部分でご報告させていただきました。

本校の教育活動が更に充実したものになるよう、今後ご感想やご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

令和2年3月

【生徒による自己評価】

- (1) 家庭学習時間
- (2) 学校生活
- (3) 学習状況・授業
- (4) 習熟度別授業

【保護者による学校評価】

- (5) 学校評価

【教員による学校評価・自己評価】

- (6) 学校評価
- (7) 授業評価及び習熟度別授業

【分析】

- (8) 学習時間の経年比較
- (9) 川口高校に対する満足度の経年比較
- (10) 反省と改善

福島県立川口高等学校

【生徒による自己評価】

(1)家庭学習時間(生徒自己評価)

1学年	中間評価					年度末評価				
	0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上	0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上
平日	0%	8%	27%	46%	19%	0%	0%	36%	54%	0%
休日	0%	8%	23%	42%	27%	0%	0%	9%	55%	36%

2学年	中間評価					年度末評価				
	0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上	0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上
平日	4%	20%	32%	44%	0%	0%	16%	20%	60%	4%
休日	4%	16%	28%	40%	12%	4%	8%	20%	40%	28%

3学年	中間評価					年度末評価				
	0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上	0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上
平日	0%	0%	13%	29%	58%	0%	0%	8%	52%	40%
休日	4%	0%	8%	25%	63%	4%	4%	16%	32%	44%

全体	中間評価					年度末評価				
	0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上	0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上
平日	1%	9%	24%	40%	25%	0%	7%	18%	57%	18%
休日	3%	8%	20%	36%	33%	3%	5%	16%	39%	36%

項目の見方

値	表示形式
20%～	20%
40%～	40%
60%～	60%

中間評価:9月

年度末評価

:1月(3年)

:2月(1,2年)

(2)学校生活(生徒自己評価)

番号	項目	種別	中間評価				年度末評価				評価1、2 の合計の 増減
			1 そう 思う	2 まあ そう思う	3 あまり 思わない	4 そう思 わない	1 そう 思う	2 まあ そう思う	3 あまり 思わない	4 そう思 わない	
1	私は、部活動・専門委員会等に積極的に取り組んできた。	1年	62%	23%	12%	4%	64%	27%	0%	9%	+6 ポイント
		2年	40%	40%	12%	8%	40%	40%	16%	4%	0 ポイント
		3年	46%	46%	8%	0%	40%	48%	12%	0%	-4 ポイント
		全体	49%	36%	11%	4%	44%	41%	11%	3%	0 ポイント
2	私は、ボランティア活動等で地域の諸活動に積極的に参加してきた。	1年	50%	38%	12%	0%	55%	36%	0%	9%	+2 ポイント
		2年	32%	44%	20%	4%	24%	48%	24%	4%	-4 ポイント
		3年	29%	54%	8%	8%	48%	28%	24%	0%	-7 ポイント
		全体	37%	45%	13%	4%	39%	38%	20%	3%	-6 ポイント
3	私は、学校行事に積極的に参加してきた。	1年	69%	23%	8%	0%	73%	18%	0%	9%	-1 ポイント
		2年	32%	64%	0%	4%	36%	56%	4%	4%	-4 ポイント
		3年	33%	54%	13%	0%	44%	48%	8%	0%	+4 ポイント
		全体	45%	47%	7%	1%	46%	46%	5%	3%	0 ポイント
4	私は、自分の健康のため、食事や衛生面に気をつけて生活してきた。	1年	46%	42%	12%	0%	45%	36%	9%	9%	-7 ポイント
		2年	8%	56%	28%	8%	16%	52%	16%	16%	+4 ポイント
		3年	42%	42%	13%	4%	20%	60%	16%	4%	-3 ポイント
		全体	32%	47%	17%	4%	23%	52%	15%	10%	-3 ポイント
5	私は、規則正しい生活を送れるよう心がけてきた。	1年	58%	31%	8%	4%	36%	55%	0%	9%	+2 ポイント
		2年	8%	48%	32%	12%	12%	40%	32%	16%	-4 ポイント
		3年	29%	50%	17%	4%	28%	48%	24%	0%	-3 ポイント
		全体	32%	43%	19%	7%	23%	46%	23%	8%	-6 ポイント
6	私は、礼儀やマナー、校則を守って生活してきた。	1年	54%	42%	0%	4%	55%	36%	0%	9%	-5 ポイント
		2年	20%	72%	4%	4%	36%	52%	12%	0%	-4 ポイント
		3年	54%	46%	0%	0%	52%	48%	0%	0%	0 ポイント
		全体	43%	53%	1%	3%	46%	48%	5%	2%	-3 ポイント
7	私は、川口高校での学校生活に満足している。	1年	65%	31%	4%	0%	55%	36%	9%	0%	-5 ポイント
		2年	16%	60%	12%	12%	24%	56%	8%	12%	+4 ポイント
		3年	33%	58%	4%	4%	32%	60%	0%	8%	0 ポイント
		全体	39%	49%	7%	5%	33%	54%	5%	8%	-1 ポイント

(3)学習状況・授業について(生徒自己評価)

番号	項 目	種別	中間評価				年度末評価				評価1、2 の合計の 増減
			1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない	1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない	
1	私は、授業に集中して先生 の話を聞いていた。	1年	62%	35%	4%	0%	62%	36%	0%	0%	+4 ポイント
		2年	28%	60%	12%	0%	24%	60%	16%	0%	-4 ポイント
		3年	42%	54%	4%	0%	44%	56%	0%	0%	+4 ポイント
		全体	44%	49%	7%	0%	39%	54%	7%	0%	0 ポイント
2	私は、授業でわからなかつ たところをそのままにしてお けなかった。	1年	38%	46%	12%	4%	45%	18%	36%	0%	-21 ポイント
		2年	8%	56%	32%	4%	8%	52%	32%	8%	-4 ポイント
		3年	25%	38%	29%	8%	28%	28%	40%	4%	-6 ポイント
		全体	24%	47%	24%	5%	23%	36%	36%	5%	-12 ポイント
3	私は、学力向上のために積 極的に取り組んできた。	1年	46%	42%	8%	4%	45%	36%	18%	0%	-7 ポイント
		2年	8%	56%	32%	4%	20%	44%	28%	8%	0 ポイント
		3年	29%	54%	17%	0%	36%	36%	28%	0%	-11 ポイント
		全体	28%	51%	19%	3%	31%	39%	26%	3%	-8 ポイント
4	私は、出された課題等をき ちんと提出してきた。	1年	50%	27%	19%	4%	62%	27%	9%	0%	+14 ポイント
		2年	16%	48%	32%	4%	16%	48%	32%	4%	0 ポイント
		3年	29%	54%	17%	0%	28%	56%	12%	4%	+1 ポイント
		全体	32%	43%	23%	3%	30%	48%	20%	3%	+2 ポイント
5	予習・復習など、家庭学習 が習慣化していた。	1年	35%	31%	27%	8%	45%	27%	27%	0%	+7 ポイント
		2年	0%	28%	64%	8%	0%	28%	56%	16%	0 ポイント
		3年	29%	46%	21%	4%	24%	44%	32%	0%	-7 ポイント
		全体	21%	35%	37%	7%	18%	34%	41%	7%	-4 ポイント
6	先生の授業(説明)はわかり やすかった。	1年	60%	36%	4%	0%	45%	55%	0%	0%	+4 ポイント
		2年	12%	64%	0%	4%	24%	76%	0%	0%	+4 ポイント
		3年	50%	42%	8%	0%	40%	60%	0%	0%	+8 ポイント
		全体	41%	54%	4%	1%	34%	68%	0%	0%	+5 ポイント
7	先生の授業は学力向上に つながった。	1年	60%	32%	4%	0%	55%	45%	0%	0%	+4 ポイント
		2年	20%	76%	0%	4%	24%	76%	0%	0%	+4 ポイント
		3年	58%	38%	4%	0%	42%	54%	4%	0%	0 ポイント
		全体	47%	49%	3%	1%	37%	62%	2%	0%	+2 ポイント
8	先生の声の大きさや話し方 は聞き取りやすかった。	1年	68%	28%	4%	0%	62%	18%	0%	0%	+4 ポイント
		2年	32%	64%	4%	0%	28%	64%	8%	0%	-4 ポイント
		3年	71%	29%	0%	0%	48%	52%	0%	0%	0 ポイント
		全体	57%	41%	3%	0%	46%	51%	3%	0%	-1 ポイント
9	先生の板書(黒板の文字)は 読みやすかった。	1年	60%	40%	0%	0%	55%	45%	0%	0%	0 ポイント
		2年	24%	56%	20%	0%	20%	72%	8%	0%	+12 ポイント
		3年	50%	46%	4%	0%	40%	60%	0%	0%	+4 ポイント
		全体	45%	47%	8%	0%	34%	63%	3%	0%	+5 ポイント
10	先生は質問にいていねいに答 えてくれた。	1年	68%	28%	4%	0%	72%	27%	0%	0%	+4 ポイント
		2年	44%	52%	0%	4%	40%	60%	0%	0%	+4 ポイント
		3年	71%	25%	4%	0%	36%	64%	0%	0%	+4 ポイント
		全体	61%	35%	3%	1%	44%	56%	0%	0%	+4 ポイント
11	先生は資料、プリント等を用 いて工夫した授業を行なっ ていた。	1年	72%	28%	0%	0%	55%	45%	0%	0%	0 ポイント
		2年	36%	64%	0%	0%	28%	72%	0%	0%	0 ポイント
		3年	58%	38%	4%	0%	48%	52%	0%	0%	+4 ポイント
		全体	55%	43%	1%	0%	41%	59%	0%	0%	+1 ポイント
12	先生は時間通り(チャイム通 り)授業を行なっていた。	1年	36%	48%	16%	0%	27%	55%	18%	0%	-2 ポイント
		2年	12%	52%	32%	4%	12%	52%	36%	0%	0 ポイント
		3年	33%	46%	17%	4%	24%	64%	12%	0%	+9 ポイント
		全体	27%	49%	22%	3%	20%	57%	23%	0%	+1 ポイント
13	先生は授業中の私語や居 眠りなど、授業態度につい て適切に指導していた。	1年	63%	33%	4%	0%	36%	55%	9%	0%	-5 ポイント
		2年	48%	40%	8%	4%	36%	52%	8%	4%	0 ポイント
		3年	46%	50%	0%	4%	28%	62%	4%	0%	0 ポイント
		全体	52%	41%	4%	3%	33%	59%	7%	2%	-1 ポイント

(4) 習熟度別授業について(生徒自己評価)

番号	項 目	種別	中間評価				年度末評価				評価1、2 の合計の 増減
			1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない	1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない	
1	自分の学力に合っていた。	1年	48%	40%	8%	4%	55%	45%	0%	0%	+12 ポイント
		2年	40%	48%	8%	4%	60%	24%	12%	4%	-4 ポイント
		3年	58%	33%	4%	4%	64%	32%	4%	0%	+4 ポイント
		全体	49%	41%	7%	4%	61%	31%	7%	2%	+3 ポイント
2	先生がわかりやすく教えてくれた。	1年	68%	24%	8%	0%	55%	45%	0%	0%	+8 ポイント
		2年	44%	52%	0%	4%	40%	60%	0%	0%	+4 ポイント
		3年	67%	33%	0%	0%	56%	40%	4%	0%	-4 ポイント
		全体	59%	36%	3%	1%	49%	49%	2%	0%	+2 ポイント
3	ノートや課題等の提出物を先生がていねいに見てくれた。	1年	72%	24%	4%	0%	64%	36%	0%	0%	+4 ポイント
		2年	40%	52%	8%	0%	40%	60%	0%	0%	+8 ポイント
		3年	75%	25%	0%	0%	56%	44%	0%	0%	0 ポイント
		全体	62%	34%	4%	0%	51%	49%	0%	0%	+4 ポイント
4	がんばった分だけ先生がきちんと評価してくれたため、やる気が増した。	1年	60%	36%	4%	0%	55%	27%	18%	0%	-14 ポイント
		2年	12%	64%	20%	4%	20%	56%	24%	0%	0 ポイント
		3年	42%	54%	4%	0%	36%	60%	4%	0%	0 ポイント
		全体	38%	51%	9%	1%	33%	52%	15%	0%	-4 ポイント
5	教科書以外の難しいことも先生は教えてくれたため、興味が増した。	1年	62%	32%	16%	0%	36%	64%	0%	0%	+16 ポイント
		2年	8%	56%	28%	8%	20%	40%	32%	8%	-4 ポイント
		3年	46%	38%	17%	0%	24%	56%	16%	4%	-3 ポイント
		全体	35%	42%	20%	3%	25%	51%	20%	5%	-2 ポイント
6	授業の進度は自分に合っていた。	1年	58%	38%	0%	4%	45%	55%	0%	0%	+4 ポイント
		2年	20%	68%	8%	4%	36%	52%	8%	4%	0 ポイント
		3年	50%	50%	0%	0%	36%	60%	4%	0%	-4 ポイント
		全体	42%	52%	3%	3%	38%	58%	5%	2%	-1 ポイント
7	質問に先生はていねいに答えてくれたため、よく理解することができた。	1年	64%	36%	0%	0%	64%	36%	0%	0%	0 ポイント
		2年	28%	64%	4%	4%	36%	64%	0%	0%	+8 ポイント
		3年	63%	38%	0%	0%	44%	56%	0%	0%	0 ポイント
		全体	51%	48%	1%	1%	44%	56%	0%	0%	+3 ポイント

【保護者による学校評価】

(5) 学校評価アンケート(保護者)

回答率 42%

回答率 69%

番号	項 目	中間評価				年度末評価				評価1、2 の合計の 増減
		1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない	1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない	
1	「一人ひとりが光り輝く主人公」となる教育を実践していた。	24%	64%	11%	1%	41%	48%	9%	0%	+2 ポイント
2	豊かな心の育成の育成に努めていた。	25%	60%	13%	2%	38%	50%	11%	0%	+3 ポイント
3	高いレベルへ挑戦させる指導に努めていた。	31%	55%	11%	2%	43%	45%	11%	0%	+1 ポイント
4	よりよい人間関係の構築に努めていた。	27%	54%	16%	3%	32%	48%	16%	2%	-1 ポイント
5	のびのびと生活できる雰囲気づくりに努めていた。	29%	53%	16%	2%	36%	52%	7%	4%	+5 ポイント
6	安心で安全な学校づくりに努めていた。	42%	49%	7%	2%	54%	41%	2%	2%	+4 ポイント
7	本校の教育に満足している。	40%	43%	11%	6%	41%	45%	13%	0%	+3 ポイント
8	学力の向上を図っていた。	34%	51%	13%	2%	39%	50%	7%	2%	+5 ポイント
9	一人ひとりの進路目標を実現していた。	34%	53%	10%	3%	34%	54%	11%	0%	+1 ポイント
10	基本的生活習慣の確立を図っていた。	35%	51%	10%	3%	39%	48%	11%	0%	+1 ポイント
11	良好な学習環境の維持管理に努めていた。	31%	52%	11%	6%	43%	50%	5%	0%	+10 ポイント
12	心の教育の充実に努めていた。	26%	55%	14%	6%	39%	45%	14%	0%	+3 ポイント
13	開かれた学校づくりを推進していた。	27%	52%	16%	6%	30%	52%	16%	0%	+3 ポイント
14	積極的な情報発信に努めていた。	29%	46%	17%	9%	39%	43%	16%	0%	+8 ポイント

<<保護者からの声>>

高校HPが良く更新され、学校の出来事がよくわかるようになってきた。残念なのは受験する生徒数の減少。もっと川口高校の良さを受験生と保護者に情報提供できたら。
ブログで学校の様子を見て、子どもから話を聞いて安心して高校生活を送れていると思います。
寮生活のため学校の指導がなかなか入ってこず知りえない部分もあり評価に迷った。
一人一人が向上できる支援をお願いします。
遠方から子供を預けているので子供の様子がもっと細かく見れると安心です。進学できる・就職できる学校から行きたい学校へ進学、行きたい会社へ就職できる学校になると良いなと思います。保護者として応援しております。
帰省のたびに成長が感じられます。
離れていて普段の様子はわかりませんが、息子は川口高校に入ってい良かったと言っています。
授業参観のような子供の学校の様子を見に行ける機会がもう少しあれば嬉しいです。
学校に行ってくれなくて先生にご迷惑をかけて申し訳ありません。これから本人に対しての対応をどうしていったら良いのかこまっています。
お世話になっております。「個に応じた」言うは易しです。「個の可能性」を見極め、鍛えて伸ばしてください。
メール登録したが、何も使われていない。紙媒体が多い。

【教員による学校評価・自己評価】

(6) 学校評価アンケート(教員)

番号	項 目	中間評価				年度末評価				評価1、2 の合計の 増減
		1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない	1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない	
1	学校は、個に応じた教育活動を実践した。	75%	25%	0%	0%	82%	8%	0%	0%	0 ポイント
2	学校は、学校行事や部活動、ボランティア活動などを通して豊かな心の育成に努めた。	45%	50%	5%	0%	85%	15%	0%	0%	+5 ポイント
3	学校は、生徒がより高いレベルに挑戦できるよう指導した。	35%	65%	0%	0%	85%	15%	0%	0%	0 ポイント
4	学校は、生徒がより良い人間関係を構築できるように努めた。	65%	35%	0%	0%	62%	38%	0%	0%	0 ポイント
5	学校は、生徒が伸び伸びと充実して生活できるような雰囲気作りに努めた。	50%	45%	5%	0%	62%	38%	0%	0%	+5 ポイント
6	学校は、事故(生徒・学校事故)のない安心で安全な学校づくりに取り組んだ。	85%	15%	0%	0%	54%	46%	0%	0%	0 ポイント
7	学校は、不祥事防止に努めた。	95%	5%	0%	0%	46%	54%	0%	0%	0 ポイント
8	学校は、習熟度別授業や個別指導を通じて学力の向上とひとりひとりの進路希望に応じた適切な指導を行った。	80%	20%	0%	0%	85%	15%	0%	0%	0 ポイント
9	学校は、進路計画の提示や、進路情報の提供、インターシップ等を通じて、生徒の進路意識の高揚に努めた。	75%	25%	0%	0%	80%	31%	0%	0%	0 ポイント
10	学校は、生徒が礼儀やマナー、社会人として必要な規範意識を身に付けられる指導を行った。	20%	85%	15%	0%	68%	31%	0%	0%	+15 ポイント
11	学校は、良好な学習環境が保たれるよう、施設設備の維持、管理に努めた。	80%	15%	5%	0%	38%	62%	0%	0%	+5 ポイント
12	学校は、生徒の悩みの相談に速やかに応じるなど、心の教育の充実に努めた。	25%	75%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0 ポイント
13	学校は、保護者が学校の教育活動に積極的に参加できるような開かれた学校づくりに努めた。	25%	75%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0 ポイント

(7) 授業評価 及び 習熟度別授業に関するアンケート(教員自己評価)

番号	項 目	中間評価				年度末評価				評価1、2 の合計の 増減
		1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない	1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない	
1	教材研究を十分行い授業に臨んだ。	0%	95%	5%	0%	17%	83%	0%	0%	+5 ポイント
2	生徒が集中して授業に取り組めるように授業を工夫した。	26%	68%	5%	0%	33%	67%	0%	0%	+5 ポイント
3	生徒1人1人の学習到達度に配慮し、わかりやすい授業を工夫した。	56%	39%	6%	0%	33%	67%	0%	0%	+6 ポイント
4	生徒の学力の実態に応じた適切な課題を与えた。	56%	44%	0%	0%	50%	50%	0%	0%	0 ポイント
5	習熟度別授業による効果が最大限発揮できるような授業を工夫し実践した。(該当教科のみ回答)	20%	80%	0%	0%	83%	17%	0%	0%	0 ポイント
6	大学進学者に対応できるような授業を工夫し実践した。	18%	71%	12%	0%	42%	58%	0%	0%	+12 ポイント
7	提出された課題についてコメントを添えるなど事後指導を丁寧に行った。	50%	50%	0%	0%	17%	83%	0%	0%	0 ポイント
8	学習年間指導計画通りに授業を実施した。	0%	50%	44%	6%	0%	42%	58%	0%	-8 ポイント
9	研修会や研究授業を通して授業力の向上に努めた。	6%	94%	0%	0%	17%	8%	75%	0%	-75 ポイント
10	生徒が聞き取りやすいように、声の大きさや話し方に留意した。	74%	21%	5%	0%	75%	25%	0%	0%	+5 ポイント
11	授業の板書を的確に行った。	53%	42%	5%	0%	50%	50%	0%	0%	+5 ポイント
12	生徒からの質問に丁寧に答えた。	63%	37%	0%	0%	82%	8%	0%	0%	0 ポイント
13	資料、副教材、プリント等を有効活用して授業を行った。	50%	50%	0%	0%	58%	42%	0%	0%	0 ポイント
14	時間通り授業を行った。	21%	68%	11%	0%	58%	42%	0%	0%	+11 ポイント
15	授業中の私語や居眠り等をきちんと指導した。	63%	32%	5%	0%	83%	17%	0%	0%	+5 ポイント
16	生徒の学習の動機付けとして、資格取得を奨励した。(該当教科のみ回答)	10%	80%	10%	0%	88%	13%	0%	0%	+10 ポイント
17	授業交換や代講等により授業時数の確保に努めた。	39%	61%	0%	0%	50%	33%	17%	0%	-17 ポイント

【分析】

(8) 学習時間(平日)の経年比較

①各学年の年度間比較

1年次 比較		0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上
	H28	0%	7%	33%	50%	10%
	H29	0%	8%	62%	31%	0%
	H30	0%	8%	44%	40%	8%
	R1	0%	0%	36%	64%	0%

2年次 比較		0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上
	H28	0%	8%	17%	63%	13%
	H29	3%	12%	24%	41%	21%
	H30	0%	0%	17%	57%	26%
	R1	0%	13%	21%	63%	4%

3年次 比較		0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上
	H28	7%	10%	34%	39%	10%
	H29	0%	0%	17%	17%	65%
	H30	6%	9%	24%	33%	27%
	R1	0%	0%	8%	52%	40%

②学習時間の追跡

現3年生		0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上
	H29	3%	12%	24%	41%	21%
	H30	6%	9%	24%	33%	27%
	R1	0%	0%	8%	52%	40%

現2年生		0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上
	H30	0%	0%	17%	57%	26%
	R1	0%	13%	21%	63%	4%

現1年生		0分	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上
	R1	0%	0%	36%	64%	0%

【分析】

(1) ①について

- ・1年生の学習時間が、例年に比べ長い。
- ・2年生の学習時間が、昨年に比べ短い。
- ・3年生の学習時間が、例年に比べ長い。

(2) ②について

- ・現2年生の学習時間が例年に比べ短く、学習意欲が低い。
進路活動にあたり、目的意識の明確化が必要である。
- ・現3年生の学習時間が例年に比べ長い。進路意識を明確化してきた結果が表れている。

(9)川口高校に対する満足度の経年比較

質問:私は、川口高校での学校生活に満足している。

①各学年の年度間比較

1年次比較		1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない
	H28	27%	30%	7%	37%
	H29	35%	46%	8%	12%
	H30	28%	52%	4%	16%
	R1	55%	36%	9%	0%

2年次比較		1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない
	H28	38%	38%	21%	4%
	H29	17%	63%	9%	11%
	H30	30%	57%	9%	4%
	R1	21%	58%	8%	13%

3年次比較		1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない
	H28	41%	56%	0%	2%
	H29	52%	39%	0%	9%
	H30	26%	59%	12%	3%
	R1	32%	60%	0%	8%

②追跡

現3年生		1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない
	H29	17%	63%	9%	11%
	H30	26%	59%	12%	3%
	R1	32%	60%	0%	8%

現2年生		1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない
	H30	30%	57%	9%	4%
	R1	21%	58%	8%	13%

現1年生		1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない
	R1	55%	36%	9%	0%

【分析】

(1) ①について

- ・7～8割の生徒が学校生活に満足していることが窺われる。昨年に比べると、1年生の満足感が、増加傾向にあり、入学初期から、学習や各種行事などを充実し、達成感を味わえるような取組をした結果が表れている。
- ・3年生の満足度が学年を追うごとに高まっている。学校生活に対する目標と、学校の指導とがかみ合っていることがうかがわれる。

(2) ②について

- ・現2年生の満足度が、若干下降傾向にある。面接や個別指導を通して、生徒の気持ちをより深く理解し、積極的に学生生活を送れるような体制を構築したい。

(10) 反省と改善

< 学年 >

1 年	反省	●家庭学習時間、学習状況、授業について ・授業に静かに取り組んでいる生徒が多く、分からないところをそのままにしない生徒が増加した。授業を大切に考えていることがアンケートからわかる。 ・授業や学習に対する積極的な姿勢や課題を期限内に提出する姿勢を身につけさせる指導が必要である。 ・学習時間を平日で1時間以上行っている生徒が8%増加した。一方で30分未満の生徒も増加しており、個別の支援が必要である。Classiでは学習時間の平均が1.12時間となっており、全体では学習時間の確保ができていない。 ・「家庭学習が習慣化した」のポイントが4%増加した。一方で習慣化していない生徒の割合に変化がない。習慣化していない生徒が固定化していると思われるので、個別の支援が必要である。 ・Classiを活用している生徒は70%程度である。進路活動に必要なツールとして、全員にClassi活用の習慣を定着させる支援の継続が必要である。 ●学校生活、日常生活について ・学校行事には積極的に参加できているが、部活動の取り組みに悩みを抱えている生徒が若干名いる。 ・食事や衛生面には気をつけることができている生徒の割合が4%減少した。 ・規則正しい生活を送ることができている、という1・2と回答した生徒が44%→68%と増加している。学習習慣の確立と、生活習慣の確立ができつつある状況であるので、支援・指導を継続したい。 ●川口高校に対する満足度 ・川口高校での生活に満足している、という質問に1・2と回答した生徒が80%おり、おおむね満足していると思われるが、生徒指導上、小さな課題を抱えている生徒も多く、4と回答した生徒は1名→4名と増加している。面談やカウンセリングを通して細かく支援をしていく必要があると考えられる。
	改善	●家庭学習時間、学習状況、授業について ・Classiでの学習記録を習慣づけることにより学習習慣の確立をうながす。学年だよりを活用して学習記録や学習時間のフィードバックを定期的に行う。 ・定期テストの振り返りや、毎日の振り返り入力徹底をさせる。 ・個人面談の機会を定期テストごとに確保し、学習や生活の振り返り→改善策の検討→実践→振り返りのサイクルを確立させる。 ●学校生活、日常生活について ・Classiの学習記録を教員で共有し、学年団や教科担任、部活動顧問による声かけ、支援。 ・カウンセリングの機会を活用し、学年団や教科担任、部活動顧問による連携。 ・LHRや学校行事において、生徒の相互理解を深める手立て、支援を行う。 ・家庭や教科担任、生徒指導部と連携を密にとり、生徒の実態に応じた生徒指導・進路指導を行う。 ●川口高校に対する満足度 ・生徒とのコミュニケーションを密にとり、面談やカウンセリングを通して生徒が安心して生活できる環境づくりを行う。
2 年	反省	●家庭学習時間、学習状況、授業について ・中間評価に比べ、平日の学習時間（1時間以上）は44%から64%と増加した。休日の学習時間（1時間以上）も52%から68%と増加している。だんだんと進路活動や日々の学習に対するモチベーションが向上し、学習習慣の定着を図ろうとしている生徒が増えている。 ・習熟度別授業について、先生にきちんと評価してもらえていないと感じる生徒が24%いる。自分の学力にあっていないと考える生徒も4%増加しており、教科担任との連携が必要である。 ・習熟度別授業について、興味が増したとは考えていない生徒が40%いる。はたしてこの質問項目は妥当なのであろうか。必ずしも難しいことを教えるのがαではないと思われる。 ・課題の提出や家庭学習について、定着していない状況に変化がないことがアンケートの結果からわかる。 ・授業中の説明はわかりやすく、学力向上につながったと考えている生徒が100%だった。課題は残るが、授業を好意的に受け止めており、授業を大切に考えていることがアンケートからわかる。 ・検定試験に挑戦する生徒は増えつつある。特に商業検定合格者が多く出ている。大学入試共通テストはまだ定まっていないが、進路実現に向けた意識が高まりつつある。 ・classiの学習記録は提出率60%を下回っており、ポートフォリオやアンケートを含め、全員にclassi活用の習慣を定着させることができていない。 ●学校生活、日常生活について ・昨年度同様、生徒たちは部活動・委員会活動等やボランティア活動におおむね積極的に取り組もうとしている。 ・学校行事に積極的に参加している生徒も92%おり、昨年同様主体的に判断し、行動できる生徒が多い。 ・規則正しい生活を送ることができている、という質問に3「あまりそう思わない」と答えた生徒が48%もいる。学習習慣の確立と、生活習慣の確立が必要である。生徒も悩んでいる様子なので、学校全体の支援が必要だと思われる。 ●川口高校に対する満足度 ・川口高校での生活に満足している、という質問に3・4と回答した生徒が20%もいる。生徒指導上や家庭環境において、小さな課題を抱えている生徒も多いため、細かな支援を継続していく必要がある。 期末評価 1 (1)A 85% (2)B 70% 2 (1)C 63% (2)D 46% 3 (1)A 80% (2)A 80%

2年	改善	●家庭学習時間、学習状況、授業について ・進路行事や日々の指導を通して進路意識を高め、classi学習記録入力を習慣づけるとともに学習習慣の確立をうながす。 ・定期テストの振り返りや、毎日の振り返り入力の徹底をさせる。主体性評価を見通したポートフォリオ蓄積の促進。 ・個人面談の機会を定期テストごとに確保し、学習や生活の振り返り→改善策の検討→実践→振り返りのサイクルを確立させる。 ●学校生活、日常生活について ・classiの学習記録を教員で共有し、学年団による声かけ、支援。 ・カウンセリングの機会を活用し、関係教員による連携。 ・LHRや学校行事において、生徒の自主性や協調性を深め、他者と協働できる人間性を育む。 ・家庭や教科担任、生徒指導部と連携した生徒指導を行う。 ●川口高校に対する満足度 ・生徒とのコミュニケーションを密にとり、生徒が安心して生活できる環境づくりを行う。
3年	反省	●学校生活について ・欠席、遅刻、早退については、年間皆勤を目標にして学校生活を送ったものが多く、生徒同士の励まし合いも見られた。その結果、80%の生徒が目標を達成することができた。 ・服装面で校則を守れない生徒が一部いたが、全体としては落ち着いた模範的な生活を送ることができた。 ・規則正しい生活については76%、食事や衛生面については80%が肯定的に評価しているが、中間評価から比べると割合は低くなっている。進路が決定した後の生活のゆるみが見られた。 ・最高学年として学校行事をけん引する立場になり、それぞれの立場で積極的ににかかわった。また、級友との交流を楽しみ、絆を深める様子が見られた。 ・部活動に積極的に参加して、個々に努力してきたこと、更には目標の達成や県大会出場を果たしたことに対して達成感を得たようだ。部長や最高学年として後輩を育てる様子も多く見られた。 ●進路・学習について ・どの進路を選択するにせよ、進路の方向性を早めに決め、意識させることが大切であると感じた。また、進路活動の流れを理解させ、なすべきことを自覚し、自発的に行動できるような指導が必要である。進学指導においては、個の能力を分析しつつ、進路の方向性を決め、受験教科をある程度確定させると共に、覚悟を持たせながら取り組ませる必要がある。 ・平日の学習時間は中間評価58%→年度末評価40%と減少した。しかし、「平日1時間以上学習」の生徒に限って言えば、中間87%→年度末92%と増加した。就職ドリルのテストなどを利用しながら学習の動機づけを図ることで、進路決定者の学習意欲を高めることができた。 ・「赤点を取らない」という低い目標ではなく「自己ベストの得点を出す」という目標を立て、学習に取り組ませた。定期考査への取り組みが甘い生徒も見られたが、日々授業を大切にし、課題を必ず提出したり積極的に授業に参加したりする姿勢を評価していただき、成績不振者は0名であった。 ●保護者との連携について ・春・夏・冬の3回の3者面談を実施した。さらには、模擬試験実施後に2者面談を実施し、現状分析と今後の学習計画を綿密に話し合った。就職希望者については、春と夏に三者面談を行い、方向性を確認した。生徒の様子を観察し、気持ちが不安定な生徒については、その都度面接し、励ましながらの指導を心掛けた。 ・学年だよりは第9号まで、Classiについては各月に2回合計20回の配信を行い、生徒の置かれている現状を理解していただきながら、保護者と連携して進路活動を行った。以前よりもスムーズに、遠方の保護者との情報交換を行うことができた。
	改善	

<部>

教務	反省	1, 校内研修の充実とわかる授業の徹底に努めます。 ○4つの教科で研究授業が行われ、研究協議や授業感想用紙等を通じて教員の授業技術向上につなげることができていた。生徒アンケートにおいても、「授業がわかりやすい」という項目で「そう思う」「まあそう思う」と回答する生徒が100%となっており、教員個々の研鑽と相まって効果を上げていると思われる。 2, 家庭学習時間の確保をさせます。 ○平日の家庭学習時間が平均1時間以上確保されている生徒が75%となっている。課題を課したり授業の予習復習を徹底させる等、各教科による指導の表れであると考えられる。 3, 魅力ある図書館作りにより読書活動を推進します。 ○生徒への図書貸出冊数は2/20時点で74冊（一人あたり0.9冊）であった。前年度比で微増であるが、以前少ない状況にある。新着図書の配架が遅れたため、生徒の図書館利用にも影響したと考えられる。 4, 積極的な情報発信により、保護者・地域社会との連携を深めます。 ○HP閲覧数は1日平均およそ1100件であった。行事の報告や進路だより等の即時的な投稿（全75件）が効果的であった。「地域みらい留学」参加の影響も考えられる。「若桐」の発行も6回となり(2/20時点あと2回予定)、適切な時期を見た発行により、地域へ学校の様子を伝えることができた。
	改善	○生徒がさらに学校生活に充実感を持てるよう、校内研修を頻繁に行う。特にAAAプロジェクトを意識した授業の立案・実践に努めたい。 ○家庭学習の習慣化は見られるが、学習時間としてはまだ不十分であるように見受けられる。平日家庭学習時間2時間以上の確保を目指し、課題や授業を工夫していきたい。 ○新着図書案内等を充実させ、生徒が図書館へ足を運ぶ機会を増やしたい。 ○引き続き「若桐」やホームページに生徒の学校生活の様子を掲載し、保護者や地域社会からの学校理解を促進したい。
生徒指導	反省	① 「私は礼儀やマナー、校則を守って生活しています」は92%の生徒が満足していた。年間を通して、落ち着いた生活を送っていた生徒が多かった。しかし、SNSなどの使い方や対人関係に課題がある。他人を思う気持ちや考えて行動することの大切さをあらゆる場面で伝えていきたい。 ② 「私は、川口高校での学校生活に満足している」は84%の生徒が満足していた。また、「よりよい人間関係の構築に努めていた」は89%の保護者が満足していた。先生方との面談やスクールカウンセラーとの面談、悩みアンケート、日常での会話などを通して、生徒の把握に努めており、生徒に寄り添った対応をすることができた。また、安全で安心な学校づくりのため、様々な場面で、啓発活動をした。 ③ 「安全で安心な学校づくりに努めていた」は94%の保護者が満足していた。毎日の校内巡視、いじめを認知するためのアンケート、登校指導、長期休業前の過ごし方などについて、命を最大限に大切にするように、安全で安心に学校生活を送れるように指導を行った。
	改善	① 特別指導の件数は、例年に比べ減少しているが、SNSによるトラブルや友人関係におけるコミュニケーショントラブルなどが多発している。他人を思いやる気持ちや自身の行動に対する責任などについて、あらゆる機会を通して伝えていくことが大切である。 ② 少人数の学校だからこそできるきめ細やかな生徒対応をすることができている。社会に出て通用するような考えや行動ができるように、優しく、時には厳しく指導する。生徒の抱えている問題について、様々な関係機関や保護者と連携し解決していく。 ③ 常に、生徒の安全を確認して学校運営を行う。問題が発生すれば、早期に対応する。生徒の些細な変化に気づくことができるように、普段の生徒とのかかわりを大切にする。

進路指導	反省	1. 3年間を見据えた進路計画の提示や情報の提供を行い、全職員が共通理解を持って指導に当たることができるようにします。 ・進路年間計画に基づき、各学年と連携をとって進路希望を明確にし進路意識を啓蒙することができた。 ・職員会議やclassiで要項を提示したが、詳細については関係学年等への周知を優先し全職員への周知が徹底しなかった。 2. 生徒の進路希望を早期に把握し、個に応じた進路実現のための具体的な施策を早期に策定し、効果的な進路指導を行います。 ・3年生の指導では、全職員が担当生徒に対して粘り強く指導にあたって下さり97%の生徒が進路希望を達成できた。 ・2年生就職希望者は2月に進路アドバイザーと個別面談を実施し、今後の進路活動についてアドバイスをいただいた。 3. 進路行事の内容を精選し、志望達成への更なる向上心を喚起します。 ・各種行事ごとの満足度アンケートの平均が4.3/5.0と高いものであった。ただ、講師の言動によって有意義な行事にならなかったものもあり、業者や講師との調整に配慮する必要性を感じた。 ・全体行事と学年単独行事の内容が重複して生徒の意識深化に繋がらなかったものもあり、調整の必要性を感じた。 4. P T A進路委員会との連携を図り、保護者への進路意識の啓蒙行事を企画します。また、本校ホームページ等を利用して保護者の皆様への進路情報発信を積極的に行います。 ・全学年保護者対象の進路行事が実施できなかった。 ・保護者対象の進路だよりを10回発行し進路情報の発信に努めた。
	改善	1. 進路指導に対する職員の共通認識を図るため、これまで以上に具体的な指導指針や内容を明示する。 2. 3年次の進路活動を自主性を持って行い、進路希望を達成できるようにする。 3. 各進路行事を振り返り、要望や改善点をあげてもらい、各学年の状況に沿った行事計画を立案する。 4. 保護者対象の進路行事をP T A進路委員と話し合って企画する。
寮務	反省	・朝食の時間や朝食当番の時間に遅れてくる生徒がいた。 ・残食は少なくなってきた。 ・学習時間中、静かに集中している生徒がほとんどである。学習習慣の定着がみられる。しかし、一部の生徒は、居眠りなど集中力が散漫な状態である。 ・プラスチックのゴミ箱に燃えるゴミが入っていたりと、分別が不徹底なところがある。
	改善	・集まる時間の再確認をし、またその時間にはいない生徒がいたら同室の生徒が呼びに行くなどルールを自分たちで決めさせた。 ・栄養のバランスの観点から、嫌いなものであっても多少は口にする習慣を身につけさせていきたい。 ・集中力が散漫な生徒には、個別に対応していきたい。学習時間の意味、将来の夢を叶えるためには、などの話題から意識を変化させていく。 ・ゴミは、寮生会議で何度も話題になったが、完璧な改善にはなっていない。折に触れ何度も話し、意識を高めてもらう。 ・寮生会議を定期的に関き、生徒自ら考えることにより、自分たちの寮という意識をもたせる。

保健 厚生	反省	・各保健事業（普通救命講習会・思春期講座・薬物乱用防止教室・栄養教室）は計画通りに開催できた。どの保健事業も真剣に講話を聴く姿が見られ、生徒の感想からも健康的な生活への改善意欲が感じられた。 ・朝食摂取率（ヘルスプロモーションアンケートより）⇒ A （第1回調査86.0%→第2回調査90.7%） 校種別の朝食摂取率90.4%とはほぼ同様の数値であったが、県全体の朝食摂取率96.6%と比較すると、大きく下回っている。朝食摂取率や「好き嫌いをなく食べる」「バランスの良い食事を心がける」といった意識の面で、寮生より通学性のほうが低い結果であった。 ・保健だよりや行事等に合わせた保健指導用資料を計画的に発行することができた。 ・生徒の清掃活動状況⇒ B おおむね積極的である ・校内及び校外の環境美化の状況⇒ B 良い ・共有スペースを含む学習環境は、おおむね清潔・整理整頓を維持できていた。
	改善	・健康に関する知識の定着と健康意識の高まりを維持していくためには、継続した指導が必要である。今後も教科・学年と連携し、保健指導の充実を図りたい。 ・通常の清掃活動及び年2回の環境美化活動については、生徒数・教員数の減少に伴い、分担内容・方法等の見直しが必要である。
図書	反省	・図書だよりの継続的な発行により、教員や図書委員によるおすすめや図書紹介等、読書活動の推進に努めた。 ・図書委員が新着図書の受入業務に積極的に取り組み、年度の早い段階で新着図書を配架することができた。
	改善	・前年度に比べ、貸出冊数が大幅に減った。アンケートからは、読書をしている生徒の多くが、自ら書店で購入しているという実態も明らかになっている。図書室利用を促すために、図書委員会活動をさらに活性化し、ポップの作成や推薦図書の配架・レイアウト等、多くの生徒が図書に興味を持つような工夫を図りたい。

<教科>

国語	反省	○授業について ・各単元におけるグループ活動等アクティブラーニングを意識した授業で、「話すこと」「聞くこと」の伸長を図った。また、読後の感想文や読書感想文等の課題により、「書くこと」についての能力の育成を図ることをした。言語活動においては生徒相互の意見交換が活発化し、創発的な雰囲気が醸成されたことで、生徒個々の思考力・判断力について向上が認められたと思う。ただし、伝え合う力の育成という観点からは表現力の向上についてまだまだ課題が残る。言語活動の充実については、学力差を考慮したうえで、今後も工夫を凝らした授業構想を行いたい。 ○習熟度別授業について ・各学年で生徒実態が異なるため、配慮の上、α、βのクラス編成を行った。 ・それぞれのクラスにおいて、能力に応じた授業が展開された。定期考査の成績等でメンバーの入れ替えを行い緊張感を持って授業に臨ませることができた。特に、βクラスの底上げを意識することで、学校全体の国語力の向上に繋がりたいと考えているが、思うような伸びがなかなか見込めない現状があり、課題である。上位クラスの中でも学力差に注意する必要がある。
	改善	○習熟度別授業について ・学習における成就感の獲得をねらい、教材選定と授業構想について特段の注意を払う。また、上位層、とりわけ大学進学希望者の学力向上を意識し、課外や個別課題等での対策を講じる。 ○進路指導 ・進路活動、また将来社会人として必要となる文章作成技術、あるべきコミュニケーション能力の習得を授業の中で図っていく。 ・漢字検定の対策、国語常識の学習等により基礎学力の定着を図る。 ・古典、小論文を含めた、進学者への効率的な指導体制の確立を図る。 ・読書指導の充実を図る。
地歴 公民	反省	・授業に対しては、生徒の興味・関心を高める方法を工夫し、概ね生徒は熱心に授業に取り組んでいる。 ・ペアワークやグループ学習などアクティブラーニング型授業を導入した。川口高校生は自分の意見を伝えたり、文章で書くことを苦手とする生徒が多いが、繰り返し自分の意見をまとめたり、ペアで発表する学習を重ねて人前で抵抗なく話すことができる生徒が増えてきた。 ・特に歴史の授業においては、暗記を強要するような知識追求型の授業ではなく、生徒に考えを発表させたり、教員の講義パートをわかりやすく説明するためにKJ法の手法を取り入れる授業を行った。昨年よりも授業に意欲的に取り組んでいる生徒が増えている。
	改善	・家庭学習時間の増加（効果的な学習の取り組みせ方や課題の与え方）を検討する ・アクティブラーニング型授業のさらなる追究（講義型の授業が多くなるので、生徒に思考の時間を与え発表をさせる時間をいかに確保するかや対話型授業など昨年できなかったことにチャレンジする） ・進路指導部と連携し、公務員試験対策の指導や小論文指導（社会科学系）の充実を図る。

数学	反省	・αクラス 基礎学力の定着をメインに、教科書にはない応用問題を加え、プラスアルファの授業を行っている。クラスでさらなる学力向上のためにチャート式の問題集を全学年採用した。初見の問題に対応できるように、考える力を身に付けさせたい。 ・βクラス 専門学校進学や就職希望者が多い。学習意欲に対する差が多く見られる。皆授業に取り組む姿勢は良いが、宿題を出し忘れたりする生徒がいる。きめ細かな指導で、提出物を出す習慣を身につけさせる必要がある。 ・基礎力診断テストでは、D3の生徒が減ってきている。年間を通して、成績が伸びてきている生徒が多い。実力テストや進研模試では、偏差値が上がったり、偏差値50を超える生徒が増えている。模擬試験を復習する時間を、あまり確保できていない。 ・数学検定は、2級1次2名、準2級1名、準2級1次4名、3級4名、3級1次2名が合格した。数学検定を受験することで、数学の既習内容の復習や融合問題に対するアプローチの仕方など、数学力を高める良い機会となった。
	改善	・αクラス 基礎基本の定着を徹底し、大学入試及び大学入試センター試験で力を発揮できるような学習にするために、レベルの高い問題にどんどん挑戦させていきたい。数学検定準2級、2級の取得を目指す。 ・βクラス 授業の工夫により学習意欲の向上を目指す。宿題提出率100%を当たり前にする。数学検定3級の取得を目指す。 ・模擬試験の事後指導の充実を図る。 ・数学検定の対策の充実や対策時間の確保をする。
理科	反省	・教科内で実験内容や進め方、使用教材について細かく話し合いながら、単元ごとに適宜観察や実験を行うことができた。特に予備実験を行い、指導上のねらいや留意点について授業担当者どうしが共通の認識を持てたことにより、安全面且つ円滑な指導実践を図ることができた。 ・プリント教材を用いた演習では、基礎から発展までの内容を準備し、学力に応じてそれぞれの目標を設定させながら指導を行った。 ・計算が必要な分野は、繰り返し演習させるなど時間をかけて行い、学習事項の定着に努めた。
	改善	・実験以外の授業では、教師からの発信を中心とした講義型の授業が主であったことから、生徒が他者との関わりを通して多様な価値観に触れながら学習できる形態を模索していきたい。 ・少しずつ実験設備、備品を整えてきたい。

保健 体育	反省	・年度始めに実施した新体力テストでは、各学年からA段階評価者を出すことが出来なかった。 ・意欲的に授業に臨み、自ら体力向上に努めることが出来るように促してきた。 ・運動能力が低かったり、差が大きかったりしたため、楽しんで運動できるように意識して授業をしてきた。 ・授業見学者は年間で、のべ48人であった。
	改善	・新体力テストで、少しでも多くの生徒が高い数値を出せるように、生徒の体力向上に努めていく。 ・T Tを有効に活用したり、外部機関を利用するなどして、個別指導を充実させ、生徒のサポートをしていく。
芸術	反省	・年度初めに実施したアンケートを参考にし生徒の興味・関心を大切に授業を展開できた。合唱については体育祭の時に披露することができ、生徒も達成感を味わうことができた。 ・歌うことに抵抗を示す生徒が少なく、地元の生徒を中心として伸び伸びと歌うことができていた。（1年） ・選択授業については、楽器の演奏のみにとどまらず、音楽についての興味が広がるような内容を工夫し、計画的に実施していきたい。（2，3年）
	改善	・歌うことに抵抗がある生徒が気持ちよく歌えるような雰囲気づくりや指導の仕方を工夫する。 ・生徒の興味関心を基盤にしながら、更に幅広いジャンルの音楽に触れさせ、生徒の音楽経験や視野を広げていく。
英語	反省	●授業について ・多様な学習形態を活用した授業実践に取り組み、英語の使用時間を確保することで生徒の英語におけるコミュニケーション能力を伸長できるよう工夫した。 ・授業において、ICTの活用や言語活動の積極的導入を図り、「わかる授業」の実践に努めた成果が生徒の授業に対する満足度からわかる。 ●習熟度別授業について ・習熟度別授業の進度は生徒のおおむね実態に合っているようである。 ・生徒は習熟度別授業を好意的に受け止めている。「わかる」「できる」「評価してもらえる」という達成感を生徒たちにいかに持たせることができるか、パフォーマンステストの積極的導入など工夫改善が常に必要である。 ・教科書を教える授業ではなく、教科書で教える、という授業スタイルへの転換が求められている。教員研修の充実が必要である。 ・教員数減に伴う生徒の家庭学習のさせ方。課題を「やらせる」のではなく、自分で「勉強する」姿勢の育成が課題である。 ●英語の民間試験受験の支援 ・2020年度入試の変更の影響もあり、2年生では積極的な受験が見られたが1年生では受験者数が増加しなかった。授業でも4技能の育成に焦点を当てて、積極的な受験をすすめたい。
	改善	●授業について ・川高AAAプロジェクトと各単元、各授業の目標を関連付け、探求と教科の往還をはかる。 ・授業のねらいを明確化し、生徒が見通しを持ち、また振り返りを行う展開の授業実践の継続。 ・生徒の実態に応じたICT機器や言語活動の積極的導入を継続する。 ・パフォーマンステストを習慣化し、4技能育成に向けた授業の実践を継続する。 ●習熟度別授業について ・教材の工夫と共有化、生徒の興味関心を高める授業への工夫改善 ・生徒が「できる」ことを増やし、英語でのコミュニケーション活動の時間を増やす。相互評価、教師による評価の工夫。 ・早い段階からの個別添削指導を実施し、「勉強すること」ではなく「勉強の仕方」を身につけるよう指導を工夫する。 ●進路について ・課題や授業を工夫して、模擬試験、一般入試に対応できる力を育成し、今後の大学入試への民間試験活用を見据えて検定試験の受験を奨励する。

家庭	反省	・行事や雪の影響などにより学習指導年間計画通りに実施できない分野があった。各実習では、生徒の関心・意欲は高いが、座学での学習には意欲が低い。欠席者への被服製作実習の補習時間の確保を行い全員完成させることができた。生徒理解に努め、全体・個人指導に取り組んだ。また、実験・実習、視聴覚教材の活用、課題解決型学習・発表伝達など、授業の展開を工夫し取り組んだが、十分な授業準備の時間の確保が難しかった。授業で学んだことを実生活に活かす態度を育てるため努めたが、今後も課題である。
	改善	・年間指導計画を綿密に立て、計画通り充実した授業を行う。 ・生徒理解に努め、座学・実習ともに関心・意欲を持ち授業に参加できるように授業の展開を工夫する。 ・課題解決型学習や生徒一人ひとり発表したり伝達したりする場を設け、身近な生活の事情を取り上げ、自分の生活のことと実感させて学ばせる。健康で豊かな生活のために学びを実生活で活かすことのできる力を養わせる。
情報	反省	・インターネットの活用に関するモラルやマナーについて、グループワークや探究活動等の主体的に取り組める環境を設定したことで、ほとんどの生徒が意欲的に取り組んでいた。特に、グループワークの回数を重ねるたびに生徒どうしがそれぞれの意見を発信しつつ、他者の意見を受け入れられるようになった。 ・年間を通して、情報社会に生きる生徒の現状を踏まえ、スマートフォン、インターネットの活用について、道徳的な観点から指導を行った。
	改善	・今後もグループワークや主体的に活動できる環境を設定して、インターネットを介したコミュニケーション力の向上につなげるとともにSNSの適切な使用について啓蒙を図っていきたい。また、グループ単位での発表から、個人の意見を発表できる場面を設定していきたい。
商業	反省	・2年生の「ビジネス基礎」・「情報処理」では、真剣に取り組む資格を取得し、技能を向上させることができた。 ・3年生の「ビジネス情報」では新しい情報技術を習得した。「ビジネス実務」は新科目でもありビジネスマナーやオフィス実務を習得した。
	改善	・2年生については、3年時進学や就職に役立てるように、検定を積極的に受験させ資格取得を目標とさせたい。また、新2年生にも、資格取得の意義を理解させ、積極的に、資格取得への取組を促したい。
福祉	反省	・介護職員初任者研修資格取得に向けて計画的に取り組むことができ、全員2年次の課程を修了することができた。 ・3年生においては、2年次に研修した経験を踏まえた授業を行い、復習しながら内容についての理解を深めることができた。 ・全員が福祉の分野に進学・就職することを希望しているため、意欲的に取り組むことができた。特に、かねやまホームでの実習は将来を考える上での参考になったようである。 ・介護職員初任者研修では外部から専門家に来てもらっており、積極的に講義を受けたため、高い評価をいただくことができた。
	改善	・次年度は5名の生徒が受講予定であり、今年度より人数が増えるため、目標を持たせた上で、また、課題を自分たちで探すことができるような授業を展開したい。 ・今後も介護分野における問題点などを自分たちで発見できるようグループ学習等を実施し、話し合いの場を設けていきたい。 ・外部講師の授業の前にはしっかり予習させ、次の時間に何を学び、疑問点はどこなのかははっきりさせてから講義に臨ませたい。